



製造業  
(内装建材)

# 朝日ウッドテック株式会社



事業者概要 (2023年4月現在)  
 代表者 代表取締役社長 海堀 哲也  
 所在地 大阪市中央区南本町4-5-10  
 電話番号 06-6245-9238  
 従業員数 818名 (連結)  
 主な事業内容 内装建材及び床下地材の製造・販売  
 URL <https://www.woodtec.co.jp/>

## 取組の背景

- 2021年2月、重要顧客から届いたカーボンニュートラルへの取組アンケートがきっかけで、社長の提案により環境専門の会議を開催し、具体的な取組をスタートさせた。
- 社長は以前から環境対策について高い意識を持っており、社員への啓発メールを定期的に発刊するなど社内の環境に対する意識向上を図っている。

#住宅資材 #SBT #サプライヤーとの連携 #エア漏れ見える化

## 取組の内容

### 省エネ・再エネ・創エネ

- エネルギー使用状況が見える化し、消費量の多い設備について運用等を見直したほか、照明をLED化。特に圧縮エア設備について、工場稼働中にエア漏れを確認できる機械を購入し、エア漏れを防ぐことで出力の削減に成功。
- 本社・営業所・倉庫等で使用する電気は再エネ由来電力へ転換済み。
- 奈良県五條工場の屋根に太陽光パネル(609.9kW)をオンサイトPPA方式により設置し、2023年2月から発電を開始。

→ 2022年は38%のCO2排出量削減率(2013年度比)を達成。2030年には社内目標である54.7%の削減率を達成できる見込み。



エア漏れの画像確認が効果的だったため、各部署で横展開中

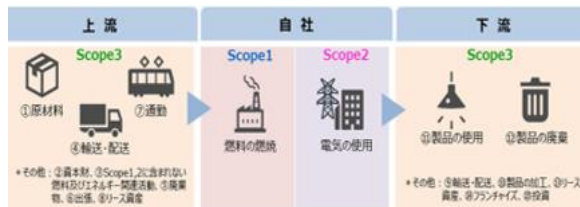
### SBT認定の取得

- 重要顧客からの強い要望を受け、SBT認証を取得。

※SBT (Science Based Targets) とは、パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標のこと。企業が環境問題に取り組んでいることを示す目標設定のひとつ。



「SCOPE1および2の排出量の絶対値を、2030年度までに2019年度比28%削減すること」と、「SCOPE3について、2026年度までにサプライヤーの80%が科学的根拠に基づいた目標を設定すること」の2つの目標で認定。



Scope1: 事業者自らによる温室効果ガスの間接排出  
 Scope2: 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出  
 Scope3: 1,2以外の間接排出 (事業活動に関連する他社の排出)

(出所) 環境省HP

### サプライチェーンのCO2排出量把握

- サプライヤーへ脱炭素に向けた取組アンケートを実施。目標設定ができていない企業が全体の5割以上という結果に。
- CO2排出量の約9割がSCOPE3であり、サプライヤー全体における脱炭素に向けた取組は重要。



サプライヤーに向けた脱炭素経営への意識強化が課題。より詳細なアンケートの実施や省エネに向けたサポートなど、サプライヤーとのさらなる連携・協力により排出量を削減していく方針。



エコリーフ (商品製造時の環境負荷の見える化)